

つなサポプラス事業 【宇都宮市】

個別事業費	13,537 千円
交付金額	10,152 千円

地域の実情と課題

- ・市女性相談所における相談件数より、10～20代の若年女性からの相談が少ないことから、多様な相談機会の提供や相談窓口の周知をする必要がある。
- ・また、相談者の主訴(家庭・身の上・その他)が、令和4年度までは、「家庭」の割合が一番多かったが、令和5年度、令和6年度は「身の上」の割合が一番高くなっていることから、孤独や孤立で不安に感じている困難な問題を抱える女性が、支援者や当事者同士がつながることのできる居場所を提供し、適切な相談・支援につなげていく必要がある。

事業の特徴

- ・本事業は、困難な問題を抱える女性、主に支援につながりにくい若年女性(10～20代)を含めた包括的支援を特徴とし、行政機関や関係団体との連携のもと、民間と協働して実施している。市女性相談所を中心に、地域の協力機関57か所に「つなサポ相談室」を設置し、若年女性が身近な場所で気軽に相談できる体制を構築するとともに、出張相談会や居場所づくりを通じて相談につながる機会を創出している。また、協力機関連携会議での意見交換や研修、相談窓口団体向け出前講座により、若年女性を切れ目なく支える支援ネットワークと人材育成を一体的に進めている。

事業の効果

市女性相談所による相談支援をはじめ、市内102か所の連携機関による周知、そのうち57か所の「つなサポ相談室」での相談対応、連携会議による情報共有、令和6年度からは、支援の入り口として「女性のための居場所」の開設など、女性支援のネットワークづくりを進めてきたことで、早期発見から相談支援、自立支援まで、切れ目のない支援体制を構築することができた。

目的・目標

- ・困難な問題を抱える女性に対し、関係機関や民間団体と緊密に連携し、包括的で切れ目ない支援を行うことを目的とする。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	女性に対する暴力や様々な悩みなどの相談窓口を知っている市民の割合	78% (R9) (アウトカム)	5年に一度の市民意識調査より把握していることから、数値がない。	
事業KPI	連携したNPO等協力団体の数	100団体 (アウトプット)	104団体	104%

連携団体

- ・ 令和7年度 当事業連携機関 (104団体)
【内訳】: 医療機関, 女性支援, 子ども支援, 保健・福祉, 高齢者支援, 外国人支援, 若者支援, 地域包括支援センターなど
- ・ 宇都宮市困難な問題を抱える女性支援調整会議
【内訳】: 宇都宮地方法務局, 栃木県警察, 市民生委員児童委員協議会, 市社会福祉協議会など

今後の課題

- ・公的な相談機関が開いておらず、若年層がアクセスしやすい、夜間帯の対応ができる体制の構築が必要である。
- ・また、相談を必要としているが相談できていない女性に、相談のきっかけとなるよう居場所の設置を継続的に行うとともに、地域の身近な場所にある協力団体のうち「つなサポ相談室」となっている団体へも相談がにつながるよう、「つなサポ相談室」の周知を強化する必要がある。

事業の概要



困難を抱える女性支援ネットワーク

宇都宮市 つなサポプラス事業

・これまでの取組に加え、新たに課題となっている困難な問題を抱える若年女性を包括的に支援するため、様々な行政機関等との連携をこれまで以上に強化するとともに、地域における民間団体等と協働で、女性が気軽に情報を得られ、支援者とつながる機会や居場所の機能を充実させる取組を実施する。

女性相談所やつなサポ相談室による相談支援

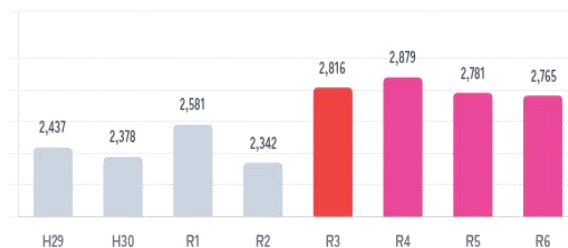
アウトリーチによる出張相談会

連携会議・交流会を通じた連携機関同士の顔の見える関係づくり

女性のための居場所「つなサポ まいまいルーム」の実施

支援人材の育成

相談件数の推移 (H29～R6)



連携団体

102 団体

うち相談室設置: 57団体

民間

女性支援

病院

保育園

障がい者支援

出張相談会



居場所 (まいまいルーム)



困難な問題を抱える女性への支援調整会議